

## 第 15 回青梅市公共交通協議会議事要旨

日 時 平成 27 年 3 月 31 日 (火) 午前 10 時 05 分から午前 11 時 20 分まで

会 場 青梅市役所 201・202 会議室

出席委員 16 名

井上会長、轟座長、松岡委員、志村委員（代理）、眞子委員（代理）、黒田委員、  
田中正委員、秋山委員、川崎委員、蛭間委員（代理）、古屋委員（代理）、  
片渕委員（代理）、中村委員、尾澤委員、田中堅委員、佐々木委員

傍聴者数 3 名

配付資料 資料 1 協議会規約改正について

資料 2 基本計画進捗状況について

資料 3 平成 27 年度業務計画および予算について

資料 4 サイクル＆バスライドについて

資料 5 「地域住民による地域公共交通改善の手引き」について

「成木地区公共交通案内」の配布について、成木地区公共交通案内

### 議 事

1 開会

(会長によるあいさつ)

2 自己紹介

(新任委員によるあいさつ)

3 協議事項

(1) 協議会規約改正について

○ 座長

「協議事項(1)協議会規約改正」について、事務局より説明をお願いします。

○ 事務局

(資料 1 にて、協議会規約改正について説明。)

○ 座長

法律の改正に合わせてということですが、何か御質問ございますでしょうか。私から 1 点だけ、我々が作ってきた総合連携計画ですが、これは計画書の名前を変更するということでしょうか。

○ 事務局

今座長からお話がありましたように、法律改正に基づいて整合を図るといった改正でございまして、現行の青梅市公共交通基本計画についてはそのまま維持をして行くという考えでございます。

○ 座長

連携計画に関してはそのままということでしょうか。

○ 事務局

本協議会で策定いたしましたのは青梅市公共交通基本計画ということで平成 25 年 3 月に策定を致しました。その点については引き続き維持をさせていただくということでございます。

それについて今回改定後の第4条の第1号に「持続可能な地域公共交通網の形成に資する取組に関するここと」ということで新たに1行追加をさせていただいております。こちらで基本計画に関するこことについてはこの協議会で御話合いをしていただいて、御意見等をいただいて行くというのが事務局の考え方ございます。座長のおっしゃる形成計画等につきましては、今後色々な協議が進展した中で必要となれば形成計画についても策定を考えて行くことで、事務局としては考えております。

○ 座長

勘違いしていました。基本計画という名前で策定していました。そのところは、ここに書いてある連携計画という名前ではないということなので、変更する必要はないということですね。ありがとうございました。そのほかいかがでしょうか。よろしいでしょうか。これについては御異議ございませんでしょうか。

- 「異議なし」の声 -

では協議会規約改正について承認いただきました。

(2) 基本計画進捗状況について

○ 座長

「協議事項(2)基本計画進捗状況」について、事務局より説明をお願いします。

○ 事務局

(資料2にて、基本計画進捗状況について説明。)

○ 座長

本年度の進捗状況ですけれど、なにか御質問ございますでしょうか。事業者の皆さんから補足等ありますか。

○ 委員

3ページの2番のところで公共交通ガイドの配布をしていますが、自治会加入世帯30,000というのは合計の数ですか。それとも小曾木などに配布しているとか、そういうことはありますか、一戸一戸配布しているとか。

○ 事務局

この自治会加入世帯については、自治会加入世帯全戸を対象として配布した部数でございます。

○ 座長

そのほかいかがでしょうか。基本計画に基づいて様々な啓発活動をしていただいているとおりまし、さらに事業者さんの方では、様々な制約もある中で見直しをしていただいているといったことかと思いますが。いかがですか、よろしいですか。特になければこの議題は終わりまして、次に移らせていただきます。

(3) 平成27年度業務計画および予算案について

○ 座長

ここで利害関係がございますので、事務局を補佐していただいている株式会社ライテックには退席をお願いしたいと思います。

- 株式会社ライテック退席 -

「協議事項(3)平成27年度業務計画および予算案」について、事務局より説明をお願いし

ます。

○ 事務局

(資料3にて、平成27年度業務計画および予算案について説明。)

○ 座長

まず御質問御意見いただきたいと思いますが、来年度の業務計画、今年度に引き続きというところが主な内容ですが。

○ 委員

1ページ(1)バス利用促進や市民意識の改革の中で、「青梅市公共交通ガイド」の作成があります。前にもお話したのですが、色が多いということと、この資料を見ても色が濃すぎて、例えば17%という見にくい部分があるので、高齢者は白内障の方が多いので、若い人はあまり感じないのだけれど、時刻表などは数字が見にくいで、できるだけ経費の節減は色刷りを減らしてもらって白を使うとか、できるだけ紙面の拡大を検討してもらえばと思っています。

○ 座長

今の御意見は、作成の段階において配慮していただくということで、このガイドを作つていくこと自体はよろしいですか。

○ 委員

はい。

○ 委員

関連でお聞きしたいのですが、公共交通ガイドの作成は、昨年12月の時点で印刷をされて配布していただきましたが、そのあと3月中頃にはバス会社JRの時刻変更がありまして、作ったばかりで変わってそれで今年の12月に作るとなると、長い間古い時刻表を市民の方が見て利用するということになると思います。この作成時期について、平成27年度ご検討されるのかどうか。あともう1点、3ページにバスの路線維持の公共負担額が出ておりますが、前年度と比べてどうなったのか。特に都バスさんの青梅車庫前から柳沢駅前の路線が、花小金井駅北口までに変わったということで、公共負担が減ってきているのかどうか、そのあたり分かりましたらお願ひしたいと思います。

○ 座長

ありがとうございます。ではその2点について。

○ 事務局

青梅市公共交通ガイドにつきましては、これまで様々な御意見をいただいております。27年度については発行する時期となるべく早く発行したいということで考えてございますのが1点。それとどうしてもダイヤ改正等が生じることがございますので、できれば27年度については、時刻表を別に印刷して差し込むような形で検討している状況でございます。それと路線バスに対する公共負担でございますが、これにつきましては26年度の当初予算額が130,672千円に対して27年度は119,857千円ということで、あくまでも協定額でございますけれど、26年度に比べて負担額については若干の減少が見られるところでございます。ただ梅70系統については路線が短縮ということはございますが、協定している市が一つ減るということから均等割り等負担額の関係もありまして、実際にはそれほど協定額としては変

更が無いというところでございます。市内路線については昨年度に比べて負担額が減っているということの中で、これに対しては東京都交通局さんの方の営業的な努力もありまして、収支に改善が見られてきているということから、協定額としては減っているという状況でございます。

○ 座長

よろしいでしょうか。1点目のガイドを作成して配布して、ダイヤが変わってしまった、このあたり非常に悩ましい事ですが、事業者さんとダイヤ改正の時期を調整いただいて、大きな改正が見込まれる時期に合わせてなるべく発行していただければと思います。それから転入者MMでもガイドを配るかと思うのですが、これに関してもご指摘のとおり古いものを配ってしまうということになりますが、そのあたりは何か対策ありますか。

○ 事務局

内容については古くなってしまうのはご指摘の通りでございまして、同じ大きさのA4の両面で少し小さいのですが、改定されました時刻表を別途印刷致しまして、これを転入者向け等には挟みまして、改定されている旨のお知らせとともにお配りしているところでございます。また駅前とか市役所で配っているものについても、時刻改定についての差し込みをして、訂正とお知らせをしているという対応をとらせていただいているところでございます。また、すでに配布されている方につきましても、インターネット上になりますがホームページでアップいたしまして、A4で印刷して差し込めるように、そういった情報も適時お知らせをしているところでございます。

○ 座長

きめ細かく対応していただいているということですので、引き続き利用者の不便がないような形をとっていただければと思います。

○ 委員

この成木地区公共交通案内とありますが、先ほど市全体に配布するというお話ですけれども、このバスは成木を走って後は空を飛んで青梅の方に来るというのではなくて、この前の会議でもお話させていただいたのですけれど、小曾木のところを半分は通るわけです。トンネル回りや飯能行も含めてですが。この公共交通の案内を見ていると、これは電車の時刻表はいいけれどもうちの方はいらない、小曾木地区の人間にはどうしてもその様な考えが湧くのです。これを見てみると、成木地区のどこどこに何時何分にバスが来ると書いてあるけれども、富岡から小曾木、黒沢、根ヶ布の方に来るバスについてはこれには一つも載っていない。成木地区を大事にするのは分かるのですが、バスの乗り具合を見ても小曾木地区は小中学校の生徒がこのバスに乗っていることが結構あるのです。そうするとお母さんやお父さんも皆このバスに乗って学校に用があれば行くし、そうでない人は車で行く人が多いと思いますが、そのようなことの配慮はどうなっているのですか。

○ 事務局

全市的な公共交通ガイドとしては、こちらのA3の観音開きにしてある公共交通ガイドを作成して配布させていただいたところでございます。今お話のあった成木地区公共交通案内についてでございますが、先ほどもお話ししましたけれども、現在成木地区におきまして地域の方が中心となって公共交通について改善の検討をされているという中で、今年度これにつ

までは、成木地区についてモビリティマネジメントの取り組みという中で、特に取り組みをさせていただいたものでございます。先ほども申し上げましたように、この地域公共交通改善制度というものについては、さらに広い範囲で使っていただきたいと考えてございまして、そういうものに応じて地域に特化したモビリティマネジメントの取り組みという形で、今後そういう地域についても検討をしていきたいと考えております。

○ 座長

これは後程議題の協議事項(5)のところで使う資料でして、これは成木地区での特定した地域での資料ということになっております。これに関して、後程御意見はいただきたいと思いますけれど、今の御意見も含めて議論をしていきたいと思いますが、全戸に配布しているのは全てのものが載ったものが配布されているということです。よろしいでしょうか。後程成木地区に関しては御意見をいただきたいと思います。そのほか御意見よろしいでしょうか。それからもう1点重要なことで事務局からあったのが、今コンサルタントに退出いただきしておりますが、委託を来年度もしていくということで、コンサルタントの選定方法についてもここで協議をということになっております。何か御意見御提案ございますでしょうか。

○ 委員

事業者の選定ということでございますが、私からご提案させていただきたいと思いますのは、こういった計画、今までの経験とか実績、今後も続けていただきたいというところで、これまでのライテックさんに引き続きお願いするのが一番妥当ではないかと思っておりますので、御提案させていただきます。

○ 座長

ありがとうございます。引き続きという御提案をいただいておりますが、御意見御質問ございますでしょうか。事務局の方で何かございますか。よろしいですか。継続性ということもありますので、私もそう思っておりますが。ただもちろん要望をしっかりと伝えて作業をしていただくということで、いかがでしょうか、よろしいですか。では次年度もライテックさんに委託をということで、事務局で手続きを進めていただければと思います。よろしくお願い致します。では選定方法についてはここで審議をいただきました。その他、今の委託業務の内容あるいは作業して欲しい内容も含め、あればいただきたいと思いますが。予算についてもよろしいでしょうか。

- 発言なし -

ではご異議無いようですので、これはこの提案のとおりにさせていただいたということに致します。ありがとうございました。

- 株式会社ライテック再入場 -

(4) サイクル&バスライドについて

○ 座長

「協議事項(4)サイクル&バスライド」について、事務局より説明をお願いします。

○ 事務局

(資料4にて、サイクル&バスライドについて説明。)

○ 座長

はい、ありがとうございます。この件に関して何か御質問御意見ございますでしょうか。

○ 委員

今お話を出ましたけれど黒沢の、バス停は柳川といいますが、2丁目の信号のところですが、バス停があつてNTTの古い施設に自転車を置いています。ところが先日建物が古いものですから崩れたそうです。役所で見てもらった事があって、直してもらったのかな、補修とかも含めて長く使っているものですから。その辺の市の対策をできたら教えていただきたいのですが。

○ 事務局

前回こうしたご指摘をいただいて、こうしたことがされているということは確認させていただきました。今ご指摘のありました施設の補修等々について、私どもで今把握してございませんので、その点については市の方でも確認をさせていただいて、また次回なりに報告させていただければと思いますので、御理解いただければと思います。

○ 座長

はい、そのように対応していただくということでよろしいですか。そのほか御質問御意見ございますでしょうか。今の件も含めて9ページに今後の検討に向けてということで説明いただきましたけれど、これについてもう少し具体的に、分かる範囲でよろしいですが、いつごろどういう対応をしていくのか、教えていただければと思うのですが。

○ 事務局

これにつきましては、いずれにしても地域の方の意向を確認することが第一だというふうに捉えてございます。従いまして、まずは自治会等の方にもご相談させていただきながら、この地域の人の意向を確認していきたいと考えてございます。その上でまたその先どのように進めていくか、検討して行きたいと考えてございます。

○ 座長

自転車ですので寒くならない間に進めた方がいいと思っておりますので、もし来年度早い段階で出来るのであれば意向を調べていただいて、ヒアリングのような形ですかね、自治会等でのインタビュー形式かと思いますけれど聞いていただいて、意向があるのであればまずは試行のようなものを季節の良い時期からしていただければと思ったのでうかがいました。よろしくお願ひ致します。そのほかいかがでしょうか。

○ 委員

まだこれから御検討ということで、もし試行実施等々行う場合には、ただ駐輪場を作るというだけでなくて、対象地域の方々にも時刻表等々バスの乗り方も含めたガイドの配布なども是非ご検討いただければと思います。事業者の方で用意することもできますので。

○ 座長

ありがとうございます。いかがでしょうか。

○ 事務局

大変貴重な意見をありがとうございました。まさにこうした公共交通の空白地域の解消に向けての取り組みということでございますので、当然その場所を設置しただけではいけませんので、実施に当たってはそうしたモビリティマネジメントといった取り組みも含めて、利用促進を図っていきたいと考えてございます。

○ 座長

ありがとうございます。良い提案をいただきました。ぜひ自治会等に行く時にあわせて、モビリティマネジメント的に様々な公共交通利用促進の活動もしていただければと思いますし、それから先ほどガイドを今年度も作っていくということで決定いただきましたけれど、そういう中にもサイクル＆バスライドの施設があるよということを書きこむとか、マークを作つてそこに入れ込むとか、いろんなことがあると思いますので、これはガイドの作成時期とサイクル＆バスライドの設置時期との状況にもよりますけれど、そういうことも是非検討いただければと思います。ありがとうございました。そのほかいかがでしょうか。よろしいでしょうか。ではこのサイクル＆バスライドに関しては、今いただいたように地域の意向を確認しながら、積極的に検討を進めていただければと思います。

(5) 「地域住民による地域公共交通改善の手引き」について

○ 座長

「協議事項(5) 「地域住民による公共交通改善の手引き」」について、事務局より説明をお願いします。

○ 事務局

(資料5にて、「地域住民による地域公共交通改善の手引き」について説明。)

○ 座長

ありがとうございます。成木地区の事例を基に充実した内容へという御提案ですが。何か御質問ございますでしょうか。まずは参加者に関して、これは多様な属性・世代職業など、自治会だとある程度やはり偏った高齢の方が多いのでしょうか、そういうことですので若い世代あるいは職業も様々な方々に入ってもらうように促します、こういうことだと思うのですが。このあたり成木地区の実態はいかがでしょうか。これを加えた背景等をもう少し説明いただければと思うのですが。

○ 事務局

成木地区につきましては、この制度ができて初めて初めての取り組みということでございました。そういう中で特に都営バスさんの減便も大きかったということから、自治会長を中心となってこの制度に対して手を挙げていただいて検討を進めてきていたという経緯がございます。そういう中で先ほどもお話ししましたように、住民ニーズの把握が必要だということからアンケート調査等も実施していただいて、そうしたものを踏まえて検討を進めていただいているところでございます。今座長からお話がありましたように、自治会長を中心とした組織でございますので、実態としては年齢の高い方が会議の方は主体となってやられておりますので、なかなか若い世代の参加は現段階ではないというような状況でございます。

○ 座長

はい、そういう課題が出てきて、この修正ということだと思います。それからアンケートについては参考についていくということかと思います。先ほど成木地区の交通案内に関しても御意見がありましたが、この参考資料も含めて御意見御質問いただければと思います。調査票例も付けるということですね。最終ページですね。

○ 事務局

アンケート内容はこういうものをやっていますということで、参考でつけるものです。

○ 座長

先進事例の成木地区で付けたものが、添付するのはそうですが、要望があればというか、是非積極的に配っていただいているものも参考にしていただいて、どんどんほかの地区でもやっていただければと思っているところです。あわせて先ほどもうかがいましたけれど、成木地区の状況を説明いただけますでしょうか。あるいは今後についてどういう方向で進めていこうとされているか、説明いただければと思います。参考になるかと思いますので。

○ 事務局

成木地区の検討委員会につきましては、26年度に4回ほど開催してございます。まず始めはこの制度の皆さんとの共通の理解を図るために説明させていただくとともに、成木地区の公共交通の実態等について資料を提供する中で、話し合いをさせていただきました。では具体的にどのような形で進めるかというようなことの中で、第2回でこのアンケート調査の実施に對しての協議がされて、アンケート調査の実施がされたということでございます。3回目はそのアンケート調査結果を踏まえての議論、3回・4回と議論を重ねてきたところでございまして、現在その委員会の中で成木地区にこういう形での新たな公共交通の導入ということができるのかということの検討をしていただいてございます。現在こうした検討内容を基に事業者さんにお話をさせていただいて、そうした方法の可否を含めて検討していただいている状況でございます。今後はこうした検討結果や事業者さんからのお話も踏まえる中で、更にこの検討委員会の方で検討を進めさせていただく予定でございます。

○ 座長

ありがとうございます。1ページのステップで言うとステップ2のあたりを今進められているということで、もしされで可能性があるということであればより詳細な調査検討へ進んでいくという、こんな段階かなと思って聞いておりました。引き続き積極的な先進事例となるような活発な検討をいただきたいと思っております。よろしくお願ひ致します。そのほかいかがでしょうか。今ひとつ成木地区で出てきているのですけれど、他の地区でこのような検討をという話が出たりしているところはございますでしょうか。

○ 事務局

現段階では特に他の地区からこうした制度を活用して取り組みをしたいというお話はございませんので、そうしたこともあるてこの手引き等を充実させて、活用していただくように努力してまいりたいと考えております。

○ 座長

ありがとうございます。他の地区が続いて出てきてくれることを期待しているものです。そのほかいかがでしょうか。

○ 委員

成木地区で検討されているところなのですが、具体的にはいつぐらいを目途にこの第2段階を終えるのかということと、基本的には第2ステップでは新たな交通機関導入を検討する前に、今の交通機関でどんなふうにというようなことが検討されているようですけれども、その辺のところを少し教えていただきたいです。

○ 座長

スケジュール感と実態を少し説明いただけますでしょうか。よろしくお願ひします。

○ 事務局

なかなか初めての取り組みで、明確なスケジュールというのが見通しのつかないところもございますが、目標としてはこのステップ2に入っているという捉え方の中で、何とか27年度にステップ3のところまで進めていきたいと、市の立場としては考えております。皆さんも初めての取り組みということですので、そういった目標に向かって検討を進めていただきたいというような考え方理解いただければと思います。検討については皆さんの中で検討が進んできていますので、特に今後、実際に運行していただく事業者の方なども含めた形での検討に入っていけるかなということで考えています。

○ 座長

なかなかまだ手探り状態でやっているところかと思いますが、事業者さんと様々な利害関係者がおりますので、慎重に進めているという感じかなと思っております。

○ 委員

ステップ1のところで話をさせていただきますが、成木と隣の小曾木という所は、人間関係もお互いに利害関係のある人がいまして、特に自治会でも役所の方でもご存知かもしれません、小曾木地区の自治会長と成木地区の自治会長さんが集まる若葉会というのがあるのですが、その中で自治会長さんが交流をしているので、「関係地域の市民等が主体」というのが2行目にありますが、そういう所で小曾木地区の自治会長をメンバーに加えるとか、話をするとか、意見を聞くというのは不可能ですか、可能ですか、どうでしょうか。

○ 座長

構成員のことですが、いかがでしょうか。

○ 事務局

ここにもございますように「関係地域の市民等が主体となって考える」という制度が、この制度の特徴でもあるわけでございまして、そういう中で成木地区の皆さんと小曾木地区の皆さんと一緒にになってそれを考えて行きたいというようなことがあれば、そのような形で検討する可能性は十分にあると捉えてございます。ただそれはあくまでも地域の皆さんで考えていただきて、どのようにするかというようなことだと思います。成木の検討委員会の中でもそうしたお話をありましたけれども、まずは成木地区について話し合いをしていこうよと、いうような形で現在進められていると理解をしております。

○ 座長

よろしいですか。この枠組み自体は定まったものがあるわけではありませんので、もし一緒にということであれば、一緒にあって議論を進めていただきたいと思います。ただ現状としては今手探り状態なので、少し小さくこじんまりとやっているところがあるのかなと思っています。必要に応じてオブザーバー的に入っていただくのも可能かと思いますし、あるいは小曾木地区においても同じような組織を立ち上げて、そして連携を取りながらという枠組みもあるかと思いますから、そこは色々なやり方があると思いますので、ぜひ積極的に地域から声をあげていただきて、それを協議会や事務局でサポートしていくということをしたいと思っております。よろしくお願ひします。そのほかいかがでしょうか。

○ 委員

少し確認させていただきたいことがあります。聞き落していたら申し訳ないのですが、今ステップ2にいるというご説明だったと思うのですけれど、修正するのはステップ1の話な

のですね。ステップ1のところでこれに変えたいということは、実際成木地区ではこれはやらなかったということなのですか。たぶん住民参加を促しますというのを、今回成木はそれをやらなかったので次からはやりたいという話なのか、それとも今回やりましたという話なのか、教えていただきたいと思います。質問の主旨としては、やっているのでしたらどのようなやり方をしたのか。

○ 座長

参加を促しているかどうかですね。

○ 事務局

成木地区については、そういう初めての取り組みの中で自治会長を中心に組織されて、進めてきたということを踏まえて、今回事務局案としてはそうしたことが幅広い世代等に加わっていただくことが必要だろうという考え方から、今回これに追記をさせていただきたいということです。

○ 座長

やって来なかつたということの反省を踏まえて、この部分を加えたということのようです。

○ 委員

そうすると、先ほど御説明があつて気になっていたのは、例えば若い世代とかがあまり参加しにくいという話ですが、先ほどお話もありました、通学等々使われているというお話もあります。その辺もステップ3でご配慮いただきたいと思います。

○ 座長

ありがとうございます。ステップ1のところが、今通りすぎてきてているので、ステップ2でもこの組織は続いているので途中からですけれど、この加えたような多様な属性の参加を促していただきたいというご提案ですけれど、これについてはいかがですか。

○ 事務局

こういうことが必要だという認識がありますので、検討委員会の方とも今後相談させていただきながら可能な範囲で対応して行きたいと思います。

○ 座長

ありがとうございます。ではぜひよろしくお願ひ致します。そのほかいかがでしょうか。よろしいでしょうか。ではこの改定については以上ですが、引き続き成木地区での検討を先進事例となるように進めていただきたいと思います。ありがとうございました。それでは予定された協議事項は以上ですけれど、そのほか何かございますでしょうか。

では無いようですので、以上で本日の協議事項は終わらせていただきます。熱心なご協議ありがとうございました。では会長にお返し致します。

#### 4 閉会

○ 会長

轟座長ありがとうございました。また委員の皆さんには色々ご意見ご質問をいただきましてありがとうございました。お陰様でスムーズに運営出来ました。本年度、昨年4月に都バスの大幅な減便がありました。さらに本年4月からは西東京バスさんも減便をされるということで、青梅市の公共交通とりまく環境が一段と厳しさを増している状況にございます。その中で西東京バスさんが長淵方面の新しい路線を開設していただきましたし、バスの乗り方

教室を開催していただいたということでございまして、大変歓迎するところでございます。一方協議会では色々減便に対する対応やサイクル＆バスライドにつきましても検討を進めているところでございますが、少し進み方が遅いなというような感じがしているところでございます。平成27年度事業計画にもこれが入っておりますので、できるだけスムーズにご協議をいただいて新しい方向性を見つけていただくということが出来ればよろしいかと考えております。明日から新しい年度に入りますが、引き続き皆さま方のご協力をよろしくお願いしまして、第15回青梅市公共交通協議会を閉会致します。ありがとうございました。